

京都府立宇治支援学校ホームページを御覧いただき、ありがとうございます。

宇治支援学校校長 星川 涼華です。校長として2度目の春を迎えました。本校は、かつて城南高校のあった地に開校し、今年度16周年を迎えます。教育理念は「喜びはともにあること」、めざす子ども像は「地域社会に貢献し幸せに暮らすことができる子ども」です。開校以来、地域の皆様からのご理解とご協力をいただきながら、子どもたちは地域の方と共に、協働による様々な学習活動に取り組んできました。日常生活の身近な題材を通して本物の教材に触れ、地域の方々とふれあい、共に活動する機会を大切にしています。その中で、子どもたちは意欲的・主体的に学習に向かっています。

校内には、喫茶店「カフェ JOY」があり、高等部生徒が多くのお客様に接客をおこなっています。来店いただいた地域の方との交流・体験をとおして、働く喜びや意義を実感し、学びを深め、卒業後の社会参加への思いを強くしていきます。「ありがとう」「おいしかったです」と声をかけていただくこと、「丁寧な接客でした」と評価をいただくことは、子どもたちはもちろん教職員にとっても大きな励みとなっています。

一方で、子どもたちが今も、これからも幸せに生きるためには、社会が多様な個人を排除せず誰もが包み込まれていること、学校が障害のある・なしに関わらず誰もが共に生きる・学ぶ場であることが必要です。共に学ぶことの良さを実感できた子どもたちが、共に生きることが大切にされる社会の担い手・創り手となっていく。そのような願いのもと、子どもたちが共に学ぶための「インクルーシブな教育環境づくり」に取り組みます。交流及び共同学習の充実や、日々の授業での学びを通して、共に学び、共に生きる経験を積み重ねていきます。

また、本校は、地域の特別支援教育のセンターとしての役割を担っています。「地域支援センターうじ」を中心に、学びやすさ・生きやすさにつながる指導・支援や共に学ぶための環境づくりについて校区の皆様とご一緒に考えてまいります。小学校(小学部)に就学するまでの時期は、障害のある、なしに関わらず子育てにおいて悩みも多い時期です。特別支援教育の視点より、子どもたちの育ちを支える取組を進めてまいります。

昨年度は、公開研究会を開催し、参加された方より子どもたちが意欲的に学習する姿について良い評価をいただきました。これからも「よりよく生きる力をはぐくむ」を教育目標に、子どもたち一人ひとりの可能性を引き出し、子どもたち自身が「できた」「わかった」実感を得て、次の目標に向けてさらにチャレンジする教育・授業を追求してまいります。

開校以来、子どもたちの姿が学校の進むべき道を切り拓いてまいりました。子どもたちの成長を支えてくださる保護者・地域の皆様への感謝の気持ちと謙虚な姿勢を忘れずに、本校の教育理念「喜びはともにあること」の意味を問い続けていきたいと、校長として勤務する責任とともに強く感じております。

このホームページや、昨年度開設したInstagramをとおして、子どもたちの日々の学習の様子や学校がチャレンジする姿を発信してまいります。学校への温かく、時に厳しいご理解・ご支援をいただきたく、どうぞよろしく願いいたします。

令和8年4月1日  
京都府立宇治支援学校  
校長 星川 涼華

